

新年のご挨拶

院長 松島 聡

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

令和になって初めての新年を迎えました。平成 30 年間の後を受け、令和はどんな時代となるのでしょうか。素晴らしい未来に期待したいと思います。

今年は東京オリンピック・パラリンピックが開催される年です。今年のラグビーワールドカップに引き続き日本中がスポーツで大いに盛り上がることと思います。さらに、来年には三重とこわか国体・とこわか大会が開催予定です。どのような感動が待っているのか大変楽しみであります。私ども済生会明和病院でも、リハビリテーションの病院として、障がい者スポーツ（パラスポーツ）を応援してきました。当院整形外科非常勤医の加藤弘明先生は、義足の専門家として診療に携わるとともに義足の陸上選手の活動を指導しています。また、当院リハビリセンターでは筋機能評価装置を用いて、義足陸上選手の筋力測定を行う研究を進めています。さらに、重症心身障害児(者)施設なでしこでは、ボッチャを活動に取り入れています。当院ではこれからも、障がい者スポーツの発展に尽くしていきたいと思っています。

さて、皆様は「SDGs」という言葉をご存じでしょうか。SDGs (Sustainable Development Goals, 持続可能な開発目標) は、国連で採択された、地球に住むすべての人たちが幸せに暮らせるように定められた世界共通の目標です。17 のゴール・169 のターゲットから構成され、地球上の「誰一人として取り残さない」ことを誓っており、日本でも政府や多くの企業が賛同し取り組んでいます。そして、SDGs の目標は私ども「済生会」が創設以来、活動の柱としてきた理念そのものであり、済生会では全国の病院・施設をあげて、目標達成のために貢献していきたいと考えています。当院でも、「すべての人に健康と福祉を」「住み続けられるまちづくりを」など積極的に役割を果たすべく活動を続けています。

最後になりますが、昨年 9 月に厚生労働省が公表した、再編統合の議論が必要な急性期病院 424 のリストに当院が含まれていたことにつきましてご説明申し上げます。このリストは急性期病院としての活動状況について評価したものです。そもそも当院は急性期病院では無く、リハビリテーションを中心とした回復期の病院です。厚生労働省が機械的にリストを作ったため名前が入ってしまいましたが、当院の実際の診療活動は一切考慮されておりません。三重県とも相談し厚生労働省には正確な情報を既に報告しております。つきましては、

今回のことは当院の活動に何ら影響を与えるものではありません。再編統合はあり得ませんので、ご安心いただきたいと思います。これまで通りの医療・福祉・介護を提供してまいりますし、これまで以上に地域の皆様が安心して健やかに暮らしていけますよう、職員一同、努力していく所存でございます。何卒ご理解の程よろしくお願ひ申し上げます。

皆様のご多幸を祈念致しまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

令和2年1月1日